

平成29年度歳入歳出決算

歳入 平均被保険者数 = 12,065人

科目	収入済額(円)	構成率(%)	被保険者1人 当たり(円)
国民健康保険料	1,630,208,000	39.33	135,119
使用料及び手数料	0	0.00	0
国庫支出金	1,955,831,355	47.19	162,108
前期高齢者交付金	0	0.00	0
県支出金	132,000	0.00	11
共同事業交付金	79,370,000	1.91	6,579
財産収入	1,970,183	0.05	163
寄附金	0	0.00	0
繰入金	0	0.00	0
繰越金	417,696,817	10.08	34,621
諸収入	59,776,355	1.44	4,953
合計	4,144,984,710	100.00	343,554

歳出

科目	支出済額(円)	構成率(%)	被保険者1人 当たり(円)
組合会費	1,419,814	0.04	118
総務費	131,405,279	3.60	10,891
保険給付費	2,295,423,211	62.94	190,255
後期高齢者支援金等	652,549,319	17.89	54,086
前期高齢者納付金等	44,157	0.00	4
老人保健拠出金	11,307	0.00	1
介護納付金	293,291,216	8.04	24,309
共同事業拠出金	67,492,000	1.85	5,594
保健事業費	148,681,392	4.08	12,323
積立金	3,617,806	0.10	300
諸支出金	53,184,123	1.46	4,408
合計	3,647,119,624	100.00	302,289

剰余金の処分

区分	総額(円)	被保険者1人 当たり(円)
歳入歳出差引剰余金	497,865,086	41,265
特別積立金積立額	0	0
給付費等支払準備金積立額	0	0
財政調整基金積立額	0	0
翌年度繰越額	497,865,086	41,265

財産目録

平成30年3月31日現在

不動産及び備品	取得価格(円)	備考
土地 (宅地・会館敷地)	30,000,000	最終登記日:S55.2.13 630.05㎡(191坪)
土地 (雑種地・駐車場)	14,812,000	最終登記日:H20.7.8 702.00㎡(212坪)
建物	36,643,321	最終登記日:H12.4.4 持分登記 271.86㎡/739.30㎡(37%)
備品	18,420,754	平成28年度末 200点 18,176,169円 平成29年度中増 9点 840,685円 平成29年度中減 4点 596,100円
積立金	金額(円)	被保険者1人 当たり(円) 備考
特別積立金	216,557,765	17,949 法定積立金 保有率 141.17%
給付費等 支払準備金	158,000,059	13,096 法定積立金 保有率 188.44%
財政調整基金	430,096,261	35,648 財政調整基金規程 に基づく積立金
退職積立金	25,843,054	2,142 規約に基づく積立 金
小計	830,497,139	68,835 前年度比 0.44%増

金や介護納付金の負担が増え続けており、そろそろ保険料の引上げを検討しなければならぬ時期にありますが、医療分保険料については、健康づくりの努力により、引上げを抑制することが可能です。香川国保では、平成30年3月に策定した第2期データヘルス計画に基づき、健康の保持・増進のためのさまざまな事業を実施しますので、ご協力をお願いします。

29年度決算を認定

7月通常組合会



議案を審議する組合会

7月19日(木)午前10時から、本部会館において、組合会議員31人(含む)、理事長、副理事長2人、代表監事の出席で7月通常組合会が開催されました。吉田明則議員(高松支部)が議長に、佐野秀樹議員(中讃地方支部)が副議長に選出された後、平成29年度の事業報告や歳入歳出決算等のご確認をいただき、すべての議案が認定・可決されました。

■被保険者数の動向
平成29年度の年間平均組合員数は、5666人で、前年度に比べ6人増加しました。組合員数の増は、平成17年度以来12年ぶりです。家族数は、6399人で、188人減少しました。合計被保険者数は、1万2065人で、158人減少しました。被保険者数の減少が続く中、国庫補助率の低い組合特定被保険者や、65歳以上の前期高齢者は、人数、割合とも年々増加しています。

■特定健診・特定保健指導の実施状況
平成29年度の特定健診の受診率(速報値)は、67.8%で、前年度(65.6%)に比べて2.2ポイント伸びました。庵治、香川、南部、高松、香川、三豊、西讃の7支部が目標である70%に達しましたが、全体では、2.3ポイント、人数にして147人及びま

■歳入の状況
歳入の状況
月額保険料が据置きだった国民健康保険料の収納額は、前年度と比べて868万円、0.5%減の16億3021万円でした。国庫支出金(国からの補助金)は、前年度と比べて2812万円、1.5%増の19億5583万円でした。繰越金は、平成28年度決算剰余金と同額の4億1770万円(対前年度比6719万円増)を収入しました。諸収入のうち3833万円は、前々年度分前期高齢者納付金の超過納付金の還付額です。

■歳入の状況
後期高齢者納付金は、前年度と比べて87%減の16万1498円です。4年ぶりの減となりました。

■健康づくりで医療費の抑制を
保険給付費のうち、療養給付費(病院等に支払った医療費)は、前年度と比べて3965万円、2.0%減の19億4847万円でした。被保険者一人当たりでは、前年度比0.7%減の16万1498円です。4年ぶりの減となりました。

■健康づくりで医療費の抑制を
平成27年度、28年度と大きく伸びた一人当たり療養給付費ですが、平成29年度は、△0.7%と4年ぶりに減少したものの、依然として高い水準にあります。また、国全体の高齢者の医療費や介護給付費が年々増加しているため、後期高齢者支援金や介護納付金の負担が増え続けており、そろそろ保険料の引上げを検討しなければならぬ時期にありますが、医療分保険料については、健康づくりの努力により、引上げを抑制することが可能です。

7月19日(木)午前10時から、本部会館において、組合会議員31人(含む)、理事長、副理事長2人、代表監事の出席で7月通常組合会が開催されました。

介護保険料収支は赤字

1人当たり
医療費0.7%減で黒字決算

平成29年度の年間平均組合員数は、5666人で、前年度に比べ6人増加しました。

特定保健指導の実施状況
平成29年度の特定健診の受診率(速報値)は、67.8%で、前年度(65.6%)に比べて2.2ポイント伸びました。

後期高齢者納付金は、前年度と比べて87%減の16万1498円です。

健康づくりで医療費の抑制を
平成27年度、28年度と大きく伸びた一人当たり療養給付費ですが、平成29年度は、△0.7%と4年ぶりに減少したものの、依然として高い水準にあります。

健康づくりで医療費の抑制を
平成27年度、28年度と大きく伸びた一人当たり療養給付費ですが、平成29年度は、△0.7%と4年ぶりに減少したものの、依然として高い水準にあります。

健康づくりで医療費の抑制を
平成27年度、28年度と大きく伸びた一人当たり療養給付費ですが、平成29年度は、△0.7%と4年ぶりに減少したものの、依然として高い水準にあります。

国保組合だより

発行
香川県建設国民健康保険組合
高松市鹿角町151-4
TEL087-866-4721
FAX087-866-7455
ホームページ
http://www.kaken-kokuho.jp
E-mail
info@kaken-kokuho.jp
E-mail (保健師相談)
health@kaken-kokuho.jp

データヘルス計画に基づく健康づくり事業

(第2期:平成30年度~平成35年度)

皆様の健康の保持・増進と、組合の健全運営のために

- 特定健診と特定保健指導 (生活習慣病の予防・早期発見・重症化予防)
- 健診異常値放置者への医療受診勧奨 (生活習慣病の重症化予防)
- バス健診で実施するがん検診の有所見者に対する再検査・精密検査の受診勧奨 (肺がん・大腸がん・前立腺がんの早期発見)
- アスベスト検診(再読影・二次検診) (建設業の職業病であるアスベスト疾患・じん肺の予防・早期発見・重症化予防 (禁煙指導))
- 生活習慣病治療中断者への医療受診勧奨 (生活習慣病の重症化予防)
- 糖尿病性腎症重症化予防のための保健指導 (生活の質が著しく低下する人工透析への移行の阻止)
- ジェネリック医薬品の使用啓発のための差額通知 (医療費の節約)
- 多受診者に対する受診適正化指導 (医療費のむだづかい防止)
- 服薬情報通知 (医薬品の適正使用とかかりつけ薬局の推進。60歳以上対象)
- 40歳未満の健康診査 (健診受診の習慣化と生活習慣病の予防・早期発見・重症化予防)
- 健康づくり・医療費適正化に関する広報 (健康づくりと医療費適正化の啓発)